

ヒストミン点鼻薬

【特徴】

- 鼻腔内に噴霧するので、有効成分が腫れた鼻粘膜に直接作用し、鼻みず、鼻づまりを緩和します。

くしゃみ、鼻みず

アレルギー症状の元をブロック

抗ヒスタミン成分

クロルフェニラミンマレイン酸塩

ナファゾリン塩酸塩

血管収縮成分

鼻粘膜の腫れを鎮める

鼻づまり

リドカイン

局所麻酔成分

鼻腔内のかゆみ、痛みを抑える



- 抗ヒスタミン成分「クロルフェニラミンマレイン酸塩」が、アレルギー症状の元となるヒスタミンをブロック。すでに起きてしまった症状に働きます。
- 血管収縮成分「ナファゾリン塩酸塩」が、腫れた鼻粘膜の血管を収縮し、鼻みず、鼻づまりを緩和します。
- リドカインによる局所麻酔作用が、鼻腔内のムズムズ感やかゆみを抑え、すっきり感が得られます。
- ヒストミン鼻炎カプセルLPと併用いただけます。

【成分・分量】 100mL 中

成 分	分 量	作 用
ナファゾリン塩酸塩	50mg	末梢血管を収縮させる神経伝達機能を刺激することで、鼻粘膜の充血・うっ血を改善し、鼻づまりを緩和します。
クロルフェニラミンマレイン酸塩	300mg	ヒスタミンH ₁ 受容体とアレルギー成分の結合をブロックすることで、アレルギー症状を引き起こす生体反応を遮断し、くしゃみ、鼻みずを抑えます。
リドカイン	100mg	神経細胞内の刺激伝達を抑制させることで局所麻酔作用を示し、鼻粘膜の痛みやかゆみを和らげます。

添加物：パラベン、エタノール、pH 調節剤、グリセリン

【用法・用量】

成人（15才以上）及び7才以上の小児：1回に1～2度ずつ、1日1～5回鼻腔内に噴霧する。なお、適用間隔は3時間以上おくこと。

【効能・効果】

急性鼻炎、アレルギー性鼻炎又は副鼻腔炎による次の諸症状の緩和：鼻づまり、鼻みず（鼻汁過多）、くしゃみ、頭重（頭が重い）

注意事項

血管収縮成分（ α 受容体刺激剤）を含有する点鼻薬の場合

連用又は頻回使用により反応性の低下や局所粘膜の二次充血（血管が薬剤に反応して逆に拡張すること）を起こすことあるので、急性充血期に限って使用するか又は適切な休薬期間をおいて使用すること。

局所麻酔成分を含有する点鼻薬の場合

使用後のすっきり感は強いが、連用による比較的短期間での作用の減弱と鼻づまりの悪化を引き起こすことがあるため、注意が必要。

1 回出る薬液量は？

1 回噴出量：0.10mL $\pm$ 15%

本品 1 本はおよそ何日分か？

1 回 1 噴霧（両鼻腔で 2 噴霧）、1 日 3 回使用した場合、およそ 50 日分に相当します。

（1 日使用量＝0.1mL $\times$ 2 噴霧 $\times$ 3 回＝0.6mL、消費日数＝30mL/0.6mL＝50 日）

内服薬との併用について

症状が重い時（花粉ピーク時）など短期間であれば、併用可能です。

眠気は現れるか？

全身の血液をめぐる飲み薬に比べ、鼻粘膜に直接働きかけるものなので、眠気は比較的軽減されます。

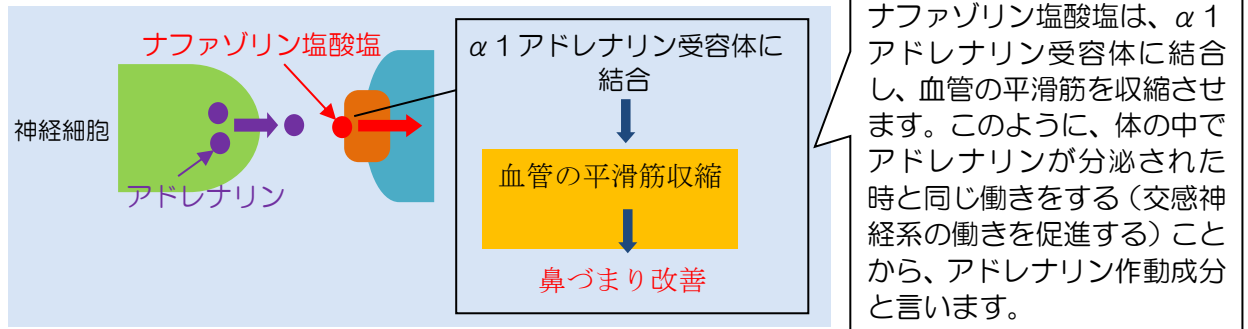
連用について

抗ヒスタミン成分等の効果は通常 1～2 日であらわれます。3 日間使用しても症状の改善がみられない場合は医師または薬剤師に相談してください。

【各成分について】

ナファゾリン塩酸塩

血管平滑筋の α 1 アドレナリン受容体に直接作用して血管を収縮させることで鼻粘膜の腫れを抑え、鼻づまりを緩和します。



クロルフェニラミンマレイン酸塩

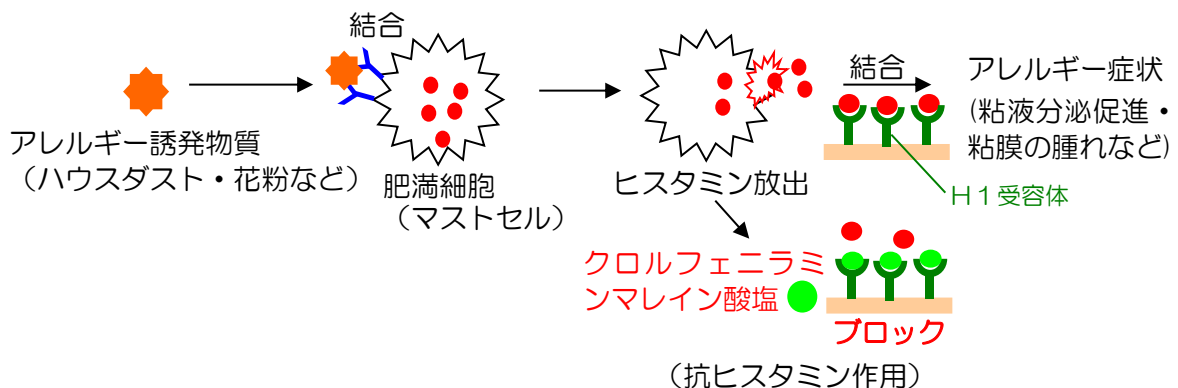
抗ヒスタミン成分は、アレルギー反応のもととなるヒスタミン受容体とヒスタミンとの結合を妨げることで、アレルギーの発生を抑制します。

（ヒスタミン受容体の分布とその反応）

ヒスタミン受容体には、いくつかの存在が知られており、受容体によって異なる生理機能を発現します。クロルフェニラミンマレイン酸塩は、H 1 受容体の働きを阻害します。

かぜ薬や鼻炎薬のCMでよく使われる、〇〇ブロックのこと。

分布	受容体の種類	反応
血管内皮細胞	H 1 受容体	血漿成分の漏出→鼻水、痰、浮腫、蕁麻疹
知覚神経細胞	H 1 受容体	興奮刺激が起こる→痒み、咳、くしゃみ
胃酸分泌細胞	H 2 受容体	胃酸分泌促進
中枢神経細胞	H 1 ~ 3 受容体	覚醒維持、めまい



リドカイン

神経細胞内の刺激伝達を抑制することで神経遮断作用を示し、鼻腔内のかゆみや荒れた粘膜による痛みを緩和します